

## 博士前期課程 日本語学専攻

## 1. 入学前に修得が期待される能力

本研究科・博士前期課程・日本語学専攻での学修を希望する物に対して、入学選抜においては、以下のような能力の有無について評価します。

1. 専門知識と研究力を修得するために必要な一般的教養と学力
2. 総合的な思考力と批判的判断力
3. 多様性に対する認識、および、意思疎通や協働に必要なコミュニケーション能力

## 2. 入学後の学びに対する姿勢

入学後の学修については、以下のような姿勢を求めます。

1. 高度な専門的な知識と技能を修得するための主体的に取り組む姿勢
2. 理論と実態、理論と実践の関係性について深いレベルで理解しようとする姿勢
3. 広い視野に立って専門的観点から言語・人間・社会の関係性を捉えようとする姿勢
4. 社会的・文化的多様性に対する理解を深め、将来社会に貢献しようとする姿勢

## 3. 入学者選抜の方法

多様な学生を受け入れるために、一般入試、キャリア入試(日本語教員・社会人一般)、外国人留学生特別入試を設けています。以下の方法で、受験者の能力や姿勢を評価します。

- ・一般入試および外国人留学生特別入試: 書類審査、筆記試験、口述試験
- ・キャリア入試(日本語教員・社会人一般): 書類審査、口述試験